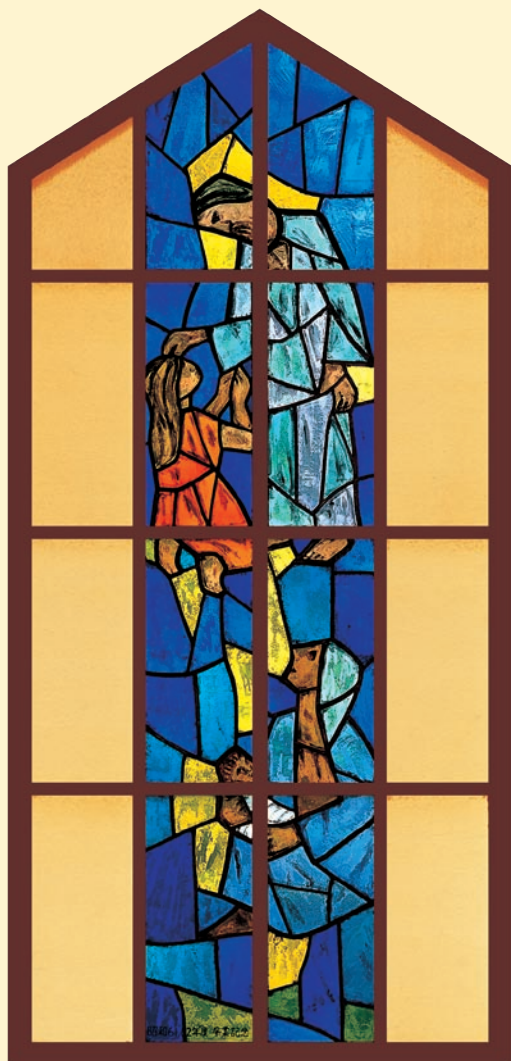


神からいただいた恵みを無駄にしてはいけません。
：今や、恵みの時、今こそ、救いの日。

〔新約聖書「コリントの信徒への手紙二」六章一〜二節〕



「盲人はいやされた」
米山記念礼拝堂

今が「恵みの時（カイロス）」ならば、神の恵みを受け取るために、心と体の構えが大切です。どうせ悪い時代だと決め付け、手を握り締めて自己主張したり、人を指差し非難している間に、思いがけず神が天から与えてくださる恵みが、指をすり抜け地に落ちて無駄になってしまうことなのです。「わが世の春」から「冬の時代」、「氷河期」まで、時代や世相を表す言葉は多々ありますが、「今や、恵みの時」と語る聖書の言葉に耳を傾け、心と手を大きく開き、神の恵みをナイスキャッチしたいものです。

（大学宗教学主任 大宮 謙）